

令和3年度（2021年度）市民公益活動センター 事業の実施状況

公募により選定した指定管理者「NPO 法人市民ネットすいた」により、以下の事業を実施
令和3年度（2021年度）交流スペースを含む施設利用者は27,755人

1 施設の使用許可業務

会議室、事務ブース、メールボックス、ロッカー、物品棚の使用許可及び使用料の徴収

2 相談事業（随時）

- ① 一般相談：市民公益活動団体の運営に関する相談、市民公益活動への参加や市民公益活動団体による支援を希望する市民からの相談等（相談192件）
- ② 専門相談：リクエストベースで相談者と専門相談員との日程調整を実施。プロボノ制度の整備を開始。
- ③ NPO 法人相談：NPO 法人設立・運営相談
- ④ IT 相談：市民公益活動団体などのITに関する相談
- ⑤ 市民公益活動促進補助金コンサルティング：スタート支援で交付を受けた団体への個別相談・現場訪問等

3 情報提供・広報支援

- ① ウェブサイト：センターの主催事業案内、市民公益活動団体情報、施設運営に関する情報公開など。Facebook や LINE 公式アカウントも活用。
- ② ニュースレター：センターの事業報告及び講座・イベント等の案内、特集記事を掲載、4回発行（各2,000部）。ウェブサイトでも公開
配付先：市民公益活動届出団体、施設利用者、市の関連部署、市内公共施設、市内地縁組織、他市の間接支援組織など。
- ③ メールマガジン：センターの事業案内、助成金情報、市民公益活動団体等のイベント情報やボランティア情報等、月に1回発行。登録者数689件。
対象：市内で活動する市民公益活動団体、市民、事業者等
- ④ 図書設置：市民公益活動に関する書籍や掲示物、パンフレット等の資料を収集し、市民活動スペース・交流サロンに設置。
- ⑤ ちらし同封、配架：ニュースレターを郵送する際、市民公益活動団体のちらしを同封するサービスを実施。また、交流スペースでチラシやパンフレットの配架、ポスター掲示を実施（815件）。
- ④ 市民公益活動団体ガイドブックの更新管理：ウェブサイトの情報を随時更新。

4 講座・研修事業

講座名	実施回数・内容		参加者数
ボランティア・NPO 初歩講座	12 回	少人数の受講者を対象に市民公益活動の基本的なことを解説し、個別相談にも対応。(オンライン参加者 16 人)	35 名
地域活動デビュー講座	0 回	(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)	0 名
NPO・ボランティアグループデビュー講座	2 回	シビックテックをテーマに、市民公益活動を始めるための連続講座をオンラインで開催。	20 名
公益活動向けの法人化講座	2 回	公益活動団体の法人化の支援を図るとともに、これから公益活動に取り組んでいく方の法人化への理解を深めるための講座を開催。	3 名
会計・税務に関する講座	1 回	市民公益活動団体の会計担当者向けに会計講座を開催。	7 名
団体情報の発信に関する講座	4 回	自治会を対象に LINE 公式アカウント開設に向けた連続講座を開催。	89 名
財源の確保に関する講座	1 回	市民公益活動促進補助金説明・相談会を実施。	8 名
NPO・ボランティアグループ運営講座	4 回	オンラインツールの基本から応用的な使い方までを学ぶことを目的に、オンライン会議、権利問題、ライブ配信、アサーティブな伝え方を学ぶ講座を実施。 (市民公益活動促進補助金交付団体向け講座は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)	34 名
地域コミュニティ運営講座	2 回	市民が主体的にまちづくりに関わる方法の一つであるパブリックコメント手続きについて学んだ。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響下で改めてコミュニティの価値や役割を考える機会としてオンラインによるイベントを開催。	13 名

5 交流・連携促進事業

交流・連携事業名	実施回数・内容及び目的		参加者数
市民公益活動のフェスタ	12 回	令和元年より企画するものの新型コロナウイルス感染拡大により延期していた「みんなの SUITA DAY」を、オンラインを併用した計 10 回の実行委員会やワークショップを経て、1 月に市民参加型のイベントとして開催。来場者は開催 2 日で 295 名。	450 名
団体交流会	2 回	吹田市災害支援ネットワーク会議を団体同士の交流促進の場として実施。	63 名
市民協働マッチング	随時	市民協働のニーズを受け付けて、ウェブサイトやメールマガジンなどで広報し、分野やセクターを越えた連携・マッチングの支援ができる状況を整えた。	4 名
現場で学ぶ団体運営学習会	随時	子供支援や成年後見に関する団体を立ち上げたいという相談から、実際の運営現場を見ていただきながら学びの場を提供した。	5 名
テーマカフェ	6 回	特定のテーマで自由に語り合える「カフェ」を開催し、関心のある人たちが集まる交流の場を提供。テーマ：初めての寄附、吹田の街なかの生物多様性、高齢者の熱中症予防ほか	62 名
「このゆびとまれ」の会	随時	(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業実施せず)	—
地域コミュニティラボ事業	随時	自治会等に対して LINE の活動に関する相談やサポート、また事業者や他市団体とのマッチングを実施。	—
おすそわけマーケット	常設	ひと昔前なら日常にあった「おすそわけ」の習慣や近所づきあいをセンターで復活させるプロジェクト。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マーケットは休止し市民からのおすそわけの受取りのみを実施。	—
すいたソーシャルビジネス支援ネットワーク	1 回	オンラインによる相談会を実施。	6 名

その他、東日本大震災により吹田市に避難された方の相談窓口を開設。

6 調査・研究・政策提言など市民公益活動の社会的環境整備を行う事業

- ① シチズンシップについて実施した調査の報告書を作成。
- ② 地域活動における新型コロナウイルス感染症の影響調査と ICT 活用実態調査を実施。

7 施設運営

- ① 利用者懇談会：施設利用者にセンターの運営や利用、サービスに関する意見を出してもらい運営に反映した。3回開催。
- ② ボランティア制度：登録ボランティア（ラコルタサポーター）にはセンターと協力しながら、ニュースレターの発送作業やみんなの SUITA DAY の取組の参加など事業の運営に携わっていただいた。ボランティアスタッフにはニュースレターの企画・編集やイベントの企画・運営など、センター事業へ積極的に参画していただいた。単発短時間で取り組める「ぶちボラ」では、ボランティア体験の機会を提供、ボランティアチーム「あつめーる」では、使用済み切手やはがきの収集を行い、アフリカの植林支援のための寄付をした。

8 自主事業

① コミュニティカレッジ「eNカレッジすいた」

シビックテックを切り口にした人材育成の連続講座を開催。これまでの修了者を対象に、テーマカフェやみんなの SUITA DAY など活躍の場を提供。

② 北摂地域無料法律相談

月2回の法律相談の開催をサポート。

③ シビックテック支援事業

Code for SUITA の定例会に参加。「ノーコードアプリセミナー」を開催。

③ 他事業から生まれる交流・連携

施設運営の様々な場面で交流・連携を図った。相談等事業の対応結果として、交流・連携を生み出す事業の会場貸与、広報支援などのサポートを実施。また、協働マッチング事業から発展させることもできた。